

クラスター	炎症・免疫系系クラスター			
授業科目名	免疫・アレルギー学			
担当者名	責任者	植木 重治	分担者	――
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
授業の概要・到達目標				
授業の目的: 免疫・アレルギー・炎症疾患に関連する臨床的課題に対して、分子学的な知見を踏まえてバイオマーカーを開発するための方法論について理解することを目的とする。 授業の到達目標: 免疫・アレルギー・炎症疾患に関連する臨床的課題に対して、分子学的な知見を踏まえてバイオマーカーを開発するための方法論を理解し、説明することを目標とする。				
授業の概要:				
1. 免疫・アレルギー学総論、細胞活化分子機構: 臨床研究に関連した免疫学、炎症学について、実際の症例・研究成績を学ぶ。 2. 免疫・アレルギー疾患におけるバイオマーカーの探求: 自己免疫性疾患やアレルギー疾患の診断や重症度判定に有効なバイオマーカーについて、実際の症例・研究成果を踏まえて理解する。講義を通じて、疾患に対して有効なバイオマーカーを学び、その重要性について理解する。				
授業計画				
	講義 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕	
1	免疫反応の基礎を理解する	植木 重治	総合診療・検査診断学 〔講座医局またはWeb〕	
2				
3	アレルギー反応の基礎を理解する	植木 重治		
4				
5	炎症の成り立ちを理解する	植木 重治		
6				
7	バイオマーカー開発の実際を理解する	植木 重治		
8				
9	まとめ	植木 重治		
授業形態および成績の評価方法・基準				
研究室での講義30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)				
植木 重治, shigeharu.ueki@gmail.com				
その他特記事項				
履修に関する情報: 生体機能系クラスター「免疫・アレルギー学・実習」との共通科目。 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。 自学自習における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				